

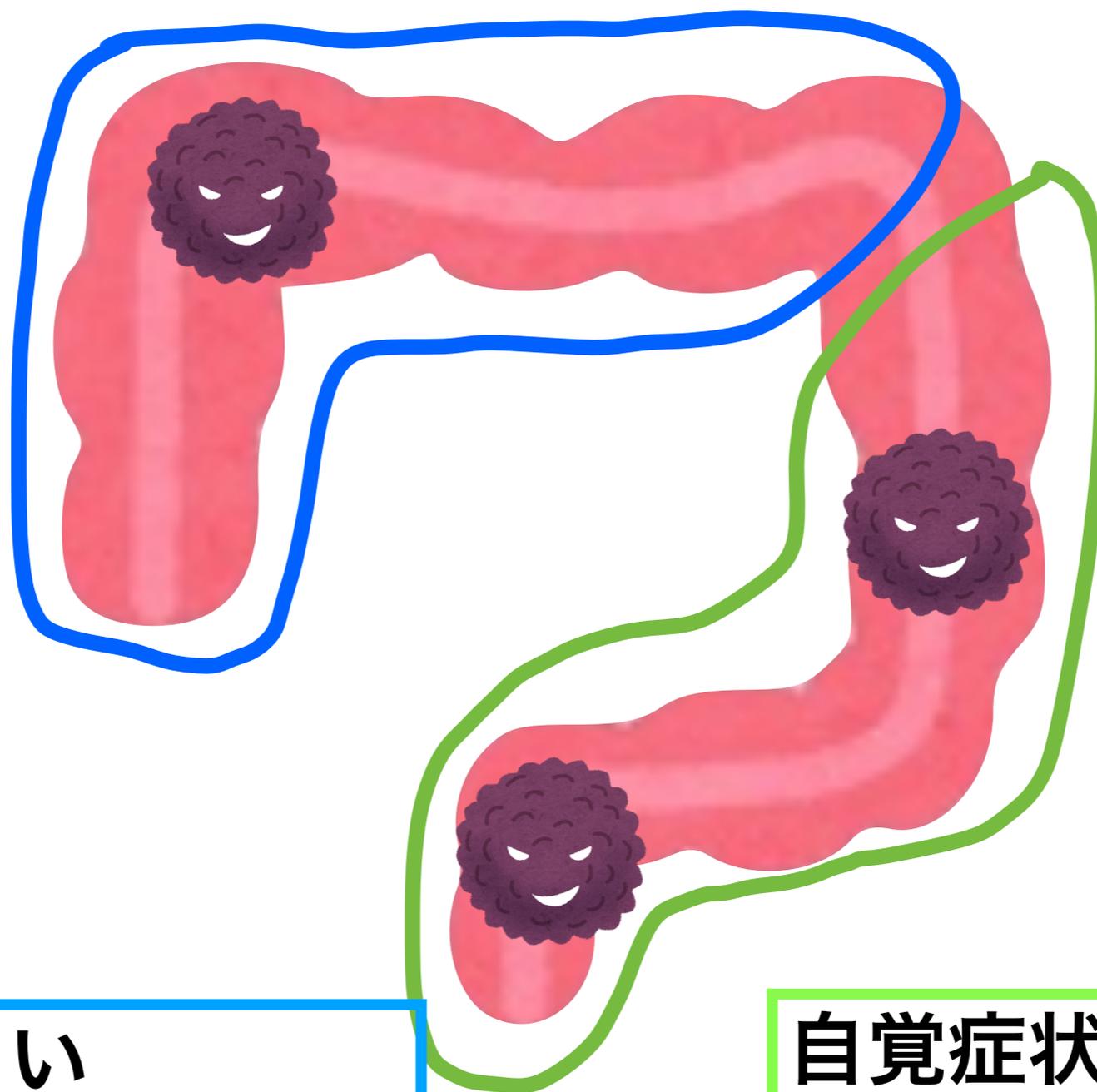
どうして大腸癌は 部位によって 症状が違うの？

エビデンスノート348



大腸がんの症状

右側大腸癌

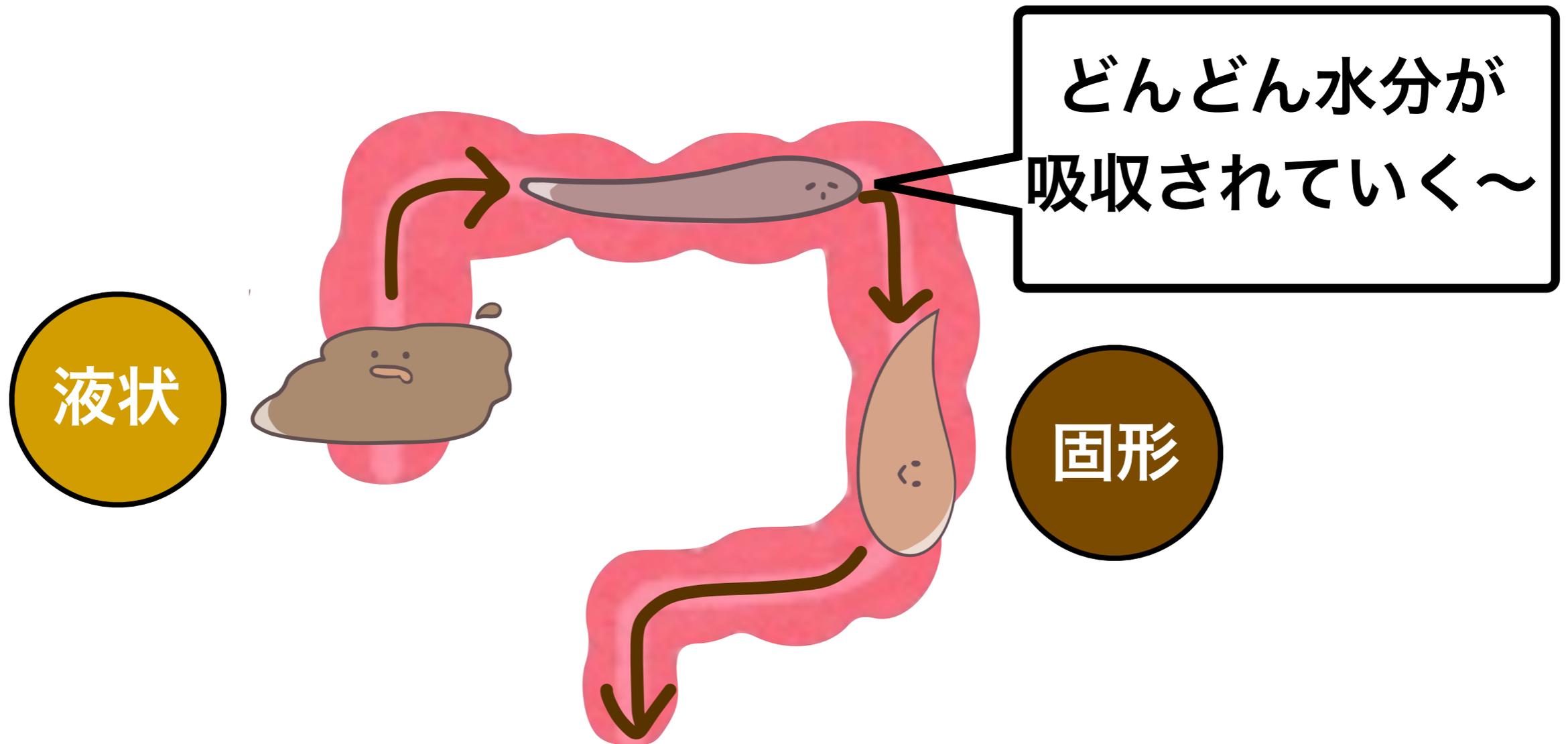


左側大腸癌

自覚症状出にくい
癌が大きくなってから発見
通過障害が起きにくい

自覚症状出やすい
早期から症状でやすい
便秘や血便あり

大腸の働きは水分の吸収



大腸では主に、水分の吸収と便の形成が行われる

肛門に近いほど、便の水分は吸収され、固い便になる
肛門から遠いほど、便には水分が多く、液状便になる

大腸癌は右側と左側で症状が違う！

右側大腸癌

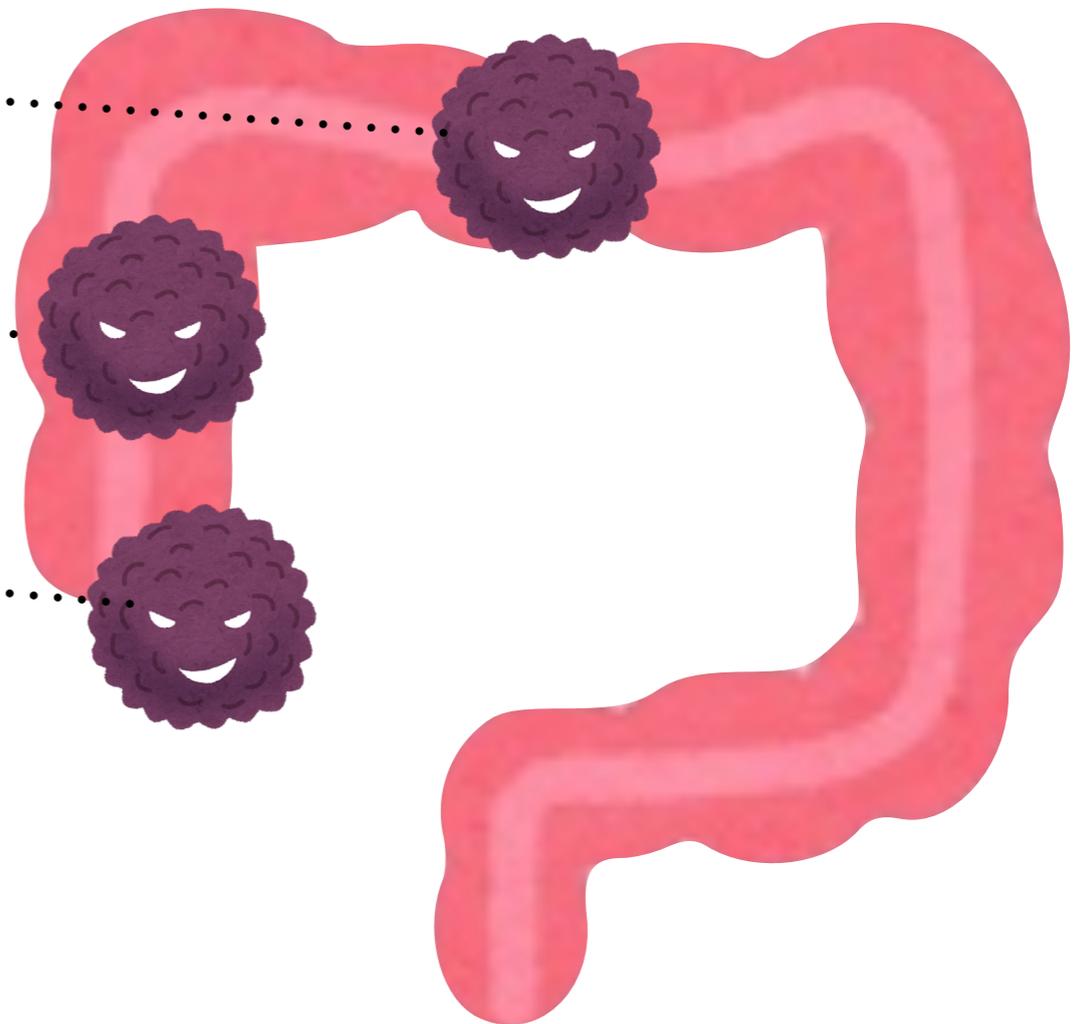
横行結腸癌

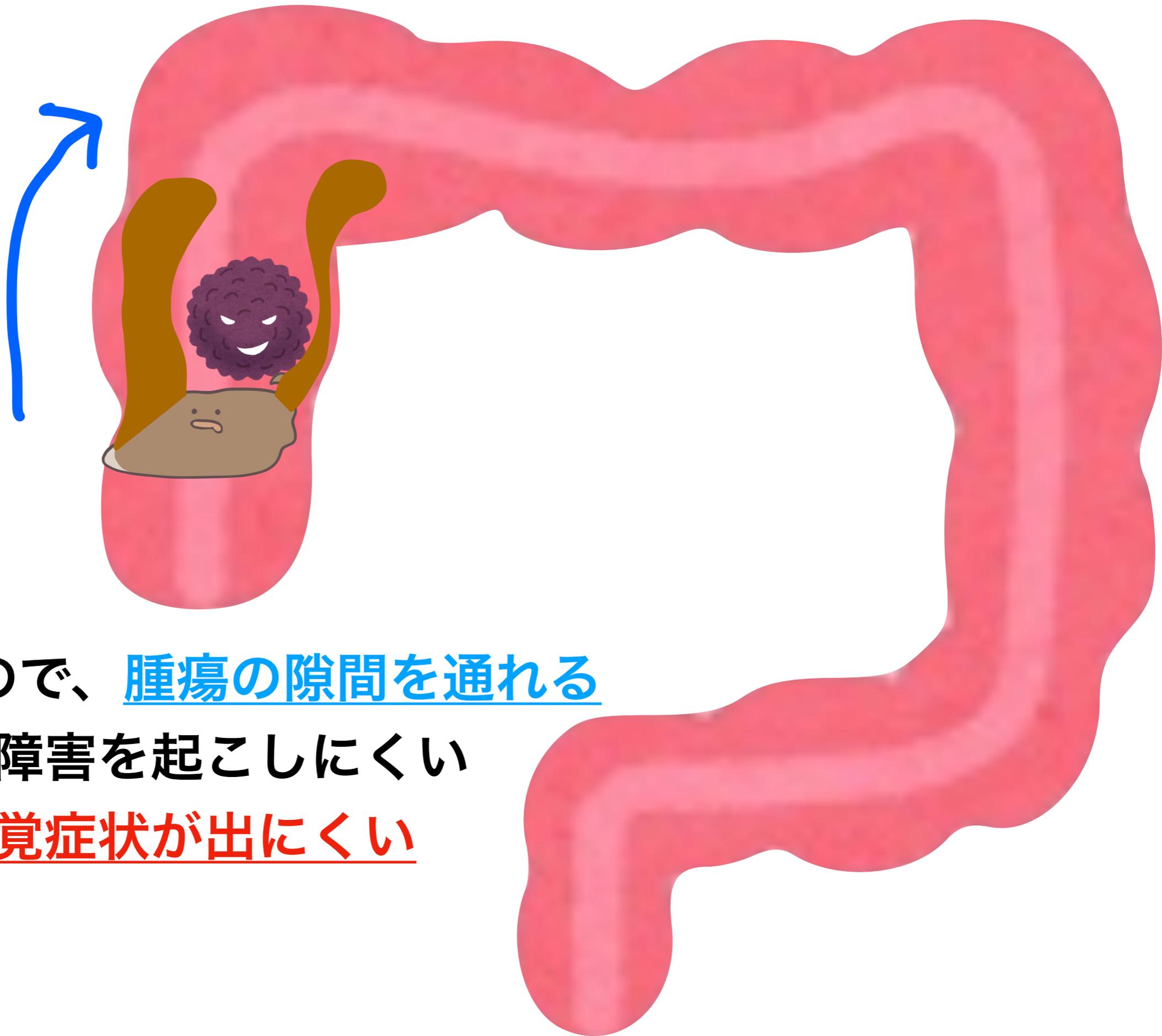
上行結腸癌

盲腸癌

→ うんちが液状なので、通過障害
が起こりにくい

→ 自覚症状が現れにくく、進行し
てから気づく場合がある





便が液状なので、腫瘍の隙間を通れる

➡通過障害を起こしにくい

➡自覚症状が出にくい

大腸癌は右側と左側で症状が違う！

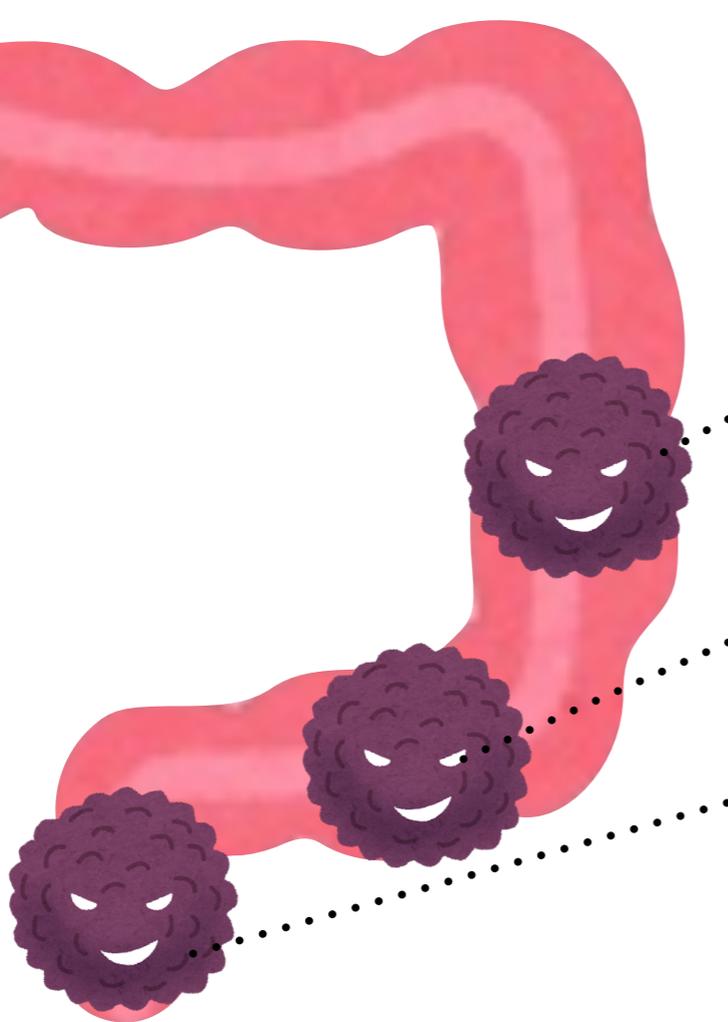
左側大腸癌

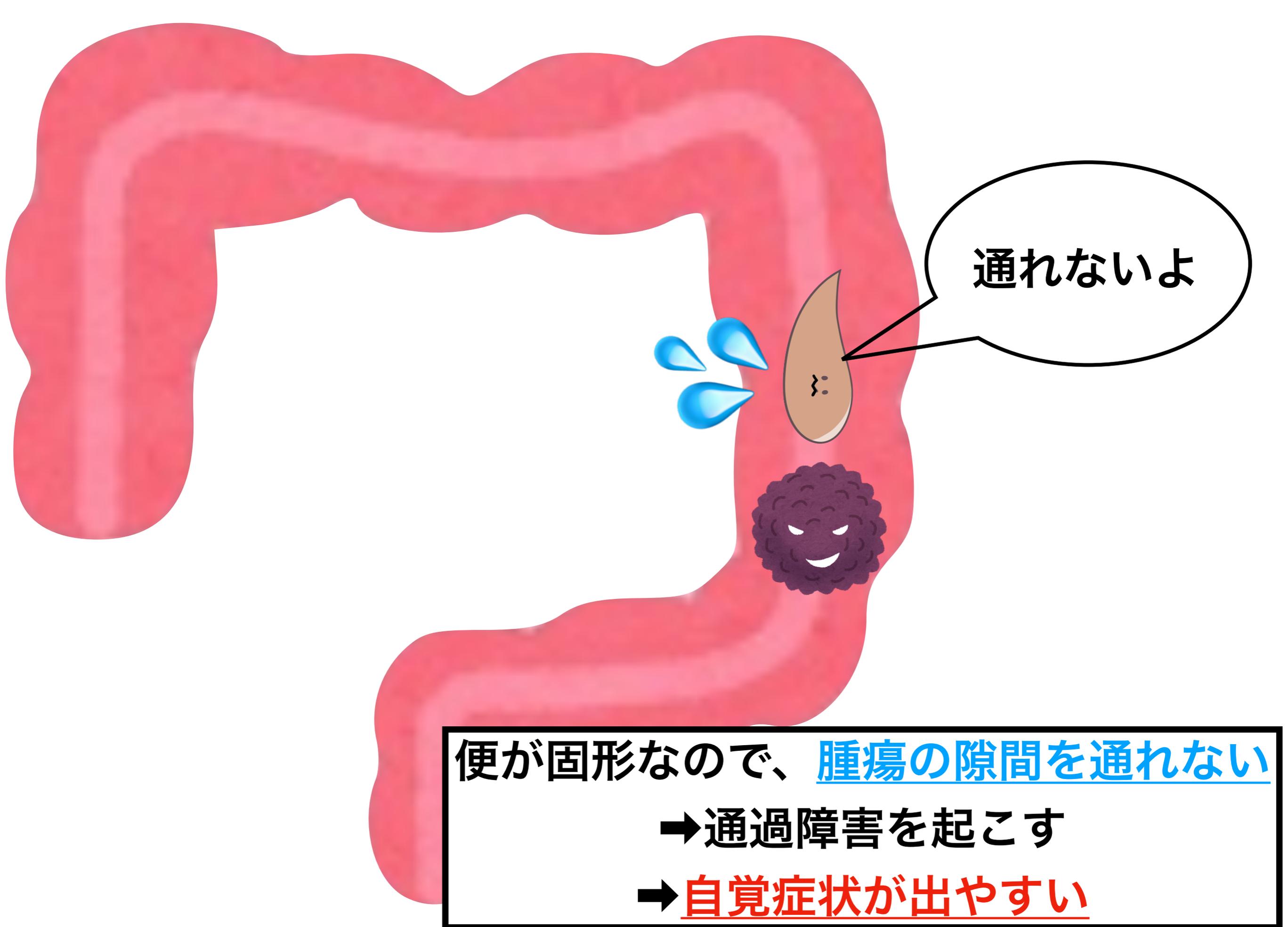
下行結腸癌

S状結腸癌

直腸癌

→ うんちが固形になっているので、
通過障害(便秘)や血便が起こり
やすい





通れないよ

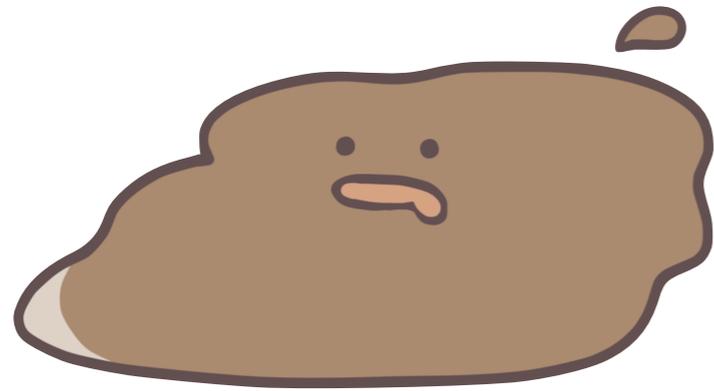
便が固形なので、腫瘍の隙間を通れない

→ 通過障害を起こす

→ 自覚症状が出やすい

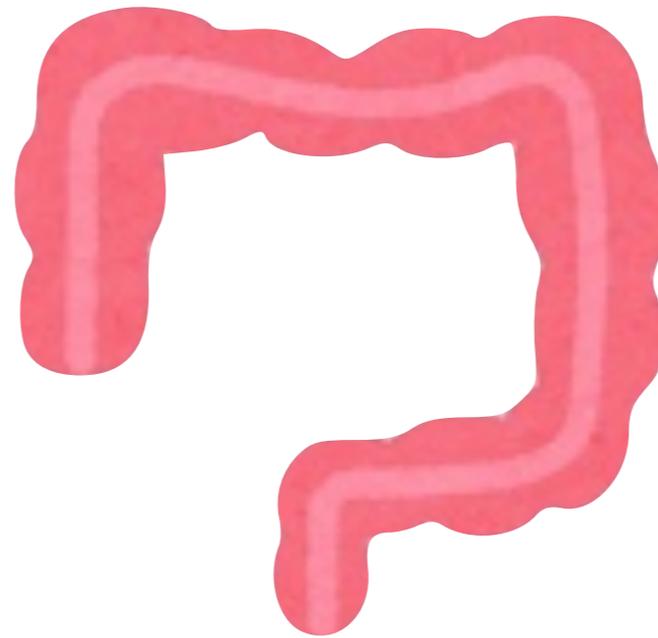
ポイントはうんちが液状か固形か！

右側



うんち **液状**

- 通過障害起きにくい
- 症状自覚しにくい



左側



うんち **固形**

- 通過障害起こす
- 症状自覚あり

血便
便秘

なぜ便が液状だと通過障害は起きないの？

便が固形の場合



腫瘍が邪魔して便が通れない

→ 通過障害

→ 便秘

便が液状の場合



便が液状なので、腫瘍の隙間を
を通り抜ける

→ 通過障害が起きない